|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４年 | ボール運動　ベースボール型　ティーボール（７時間） | 運動場 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | 捕る、打つ、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 進んでティーボールに取り組み、誰とでも仲良くゲームに取り組むことができるようにする。場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。 |
|  | 時間 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| 学習の流れ | ０５２０４５ | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．めあての確認 |
| 【めあて】単元の目標と学習の流れを確認しよう。 | 【めあて】ボールの打ち方を考えてみよう。 | 【めあて】ボールの捕り方・投げ方を考えてみよう。 | 【めあて】規則を工夫してティーボールをしてみよう。 | 【めあて】作戦を工夫してみよう。 | 【めあて】クラス対抗ティーボール大会をしよう | 【めあて】クラス対抗ティーボール大会をしよう。 |
| **４ オリエンテーション**・学習の進め方・１時間の流れ・場づくり・規則・チーム分け**５　基礎感覚運動**・色々なパス（ペア）・ホース振り・ホームランゲーム・トスバッティング**６　ティーボールをやってみよう。**攻め、守りの基本を確認しながら、やってみよう。・道具の片付け方を　確認する。 | ★基礎感覚運動…・いろいろパス（ペア）バンダナボール、だるまボール　・ホース振り　・ホームランゲーム　・トスバッティング**４．活動①**「ボールをより遠くまで飛ばす」ために、どのように打つのかを意識して行うことができるようにする。・オノマトペやポイントを共有**６．活動②**ティーボールには、打つ、捕る、投げる等の動きがあることを理解させる。打ち方のポイントやコツ、オノマトペを押さえることができるようにする。・立ち位置・ボールを見る・バットの握り方・ﾋﾞｭｯと振るなど | **４．活動①**「ボールを捕るためにはどうすれば捕りやすいか」「良い投げ方」を意識して行うことができるようにする。５　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。**６．活動②**　取り方のコツやポイントを押さえ、その取り方を意識して試合を楽しみことができるようにする。・ボールが飛んでくるところへ移動・正面で捕る・投げる手と反対の足がでる | **４．活動①**みんなが楽しく参加できる規則を考えながら試合をすることができるようにする。**６．活動②**　ボールを持たない動きにもチャンスがあることを理解させ、皆がより良く楽しめるための規則を考えることができるようにする。・ボールやバットの工夫・攻めと守りの人数・塁間の距離、置き方・プレイ上の緩和 | **４．活動①**　用意した作戦の中から作戦を選んでゲームに取り組むことができるようにする。**６．活動②**　作戦がうまく機能しているチームを取り上げるなどして、友達の良い動きに注目しながらゲームを進めることができるようにする。また、作戦が昨日したときの喜びや一体感を感じることができるようにする。 | **４．活動①**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いティーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。**６．活動②**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いティーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 | **４．活動①**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いティーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。**６．活動②**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いティーボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。【大会の持ち方】・総当たりのリーグ戦・トーナメント戦など※試合数の確保 |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、むずかしかったこと、楽しかったこと、友だちの良い所、次がんばりたいこと等。必要に応じて**実技と結びつけて発表させる**） |
| 評価規準 | 知・技 |  | 〇 | ○ |  |  | ○ |  |
| 思判表 |  |  |  | 〇 | ○ |  |  |
| 主体的 | 〇 |  |  |  |  |  | ○ |

作成：体育科指導CO金城　光文書院「体育の学習（４年）」p26〜29参照